

会議概要附属機関等の名称 安曇野市上下水道事業経営審議会

1	会議名	令和元年度 第2回 安曇野市上下水道事業経営審議会
2	日時	令和2年3月13日(金) 午後1時30分から午後3時00分まで
3	会場	本庁舎 3階306号室
4	出席者	丸山副会長、臼井委員、大江委員、保尊委員、望月委員、森重委員
5	市側出席者	久保田上下水道部長、沖経営管理課長、横山上水道課長、石川下水道課長、堀内管理係長、重野維持係長、松岡維持管理担当係長、長崎下水道整備担当係長、中島庶務担当係長、古畑庶務担当係長、深澤市民生活部環境課長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年3月13日

協議事項等

○会議の概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 令和2年度予算の概要について
 - (2) 安曇野市水道事業水安全計画(素案)について
 - (3) 安曇野市ストックマネジメント実施方針について
 - (4) 安曇野市水資源対策協議会資金調達について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

○議事の概要

会長欠席のため、副会長が会長の職務を代理。

- (1) 令和2年度予算の概要について
(事務局説明)

<質疑>

委員：下水道接続促進事業の、平成30年度水洗化率が84.6%に対し、令和2年度目標が87.2%であるが、目標を達成するにあたり、200万円の予算で実現できるのか。また、平成31年度当初予算の業務予定量では排水戸数31,000戸で、令和2年度の業務予定量も同じ数値であるが、接続促進を行えば数値が増えると思うがいかがか。

事務局：平成31年度の排水戸数は30,500戸となる見込みのため、令和2年度は同じ予定量とした。また、200万円は下水道接続促進補助金であり、低所得者を対象としている。接続促進は未接続宅を訪問して対応する。

委員：流域下水道でマンホール蓋の販売を行う新聞記事を見たが、安曇野市ではどのように考えているか。

事務局：安曇野市では、マンホール蓋交換は年10枚程であるが、今後検討をしたい。

(2) 安曇野市水道事業水安全計画(素案)について
(事務局説明)

<質疑>

質疑なし。

(3) 安曇野市ストックマネジメント実施方針について
(事務局説明)

<質疑>

質疑なし。

(4) 安曇野市水資源対策協議会資金調達について
(環境課説明)

<質疑>

委員：地下水受益者のうち、資金負担者の範囲がよくわからない。

環境課：現段階ではまだ定められていない。上水道事業者も該当する可能性もある。

委員：上水道事業は企業であり、ある程度の利益を追求しているが、多くの市民の生命に係る事業を行っていて、極めて公共性が高い。例えばペットボトルの水は必需品とまでもならないし、湧水を利用している養鱒業も大事な産業ではあるが同じだ。資金調達を行うにあたり、地下水恩恵受益者の範囲を最初にしっかり決めておく必要がある。上水道事業の湧水使用率が高いから一番高い金を払うという考えは納得できない。

環境課：現段階では、資料のマトリックス図のように受益者を考えている。図の中には個人の井戸利用、湧水ポンプで原材料として水を汲み上げ利益を得る者、神社・病院など考えられる全ての受益者をイメージしている。まだ、資金調達対象の受益者は決められていないが、受益者を広く捉え、資金調達とともに節水の取組を促すことを考えている。

以上